

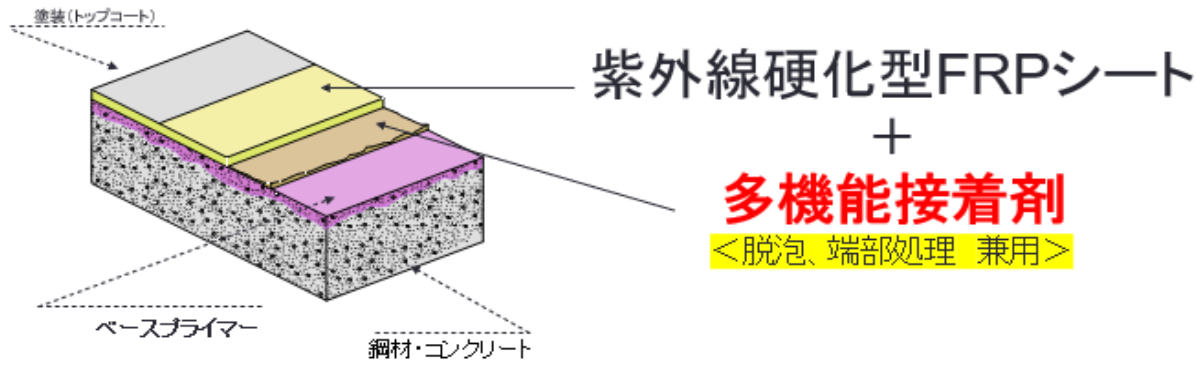
技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	UVPPS工法	担当部署	事務局
NETIS登録番号	CG-140016-VE	担当者	小西 弘晃
社名等	一般社団法人 SCFR工法協会	電話番号	078-951-2154
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>鋼構造物やコンクリート構造物の経年劣化に伴い、補修や補強工事が増加しており、コストや施工性の優れた補修工法や補強工法の重要性が増してきている。</p> <p>そのなかで近年、高耐久性のFRPシート貼付けによる補修工法として、施工性に優れ、また、コスト的にも優れる紫外線硬化型FRPシートが、歩道橋の補修を中心として多く採用されてきた。</p> <p>しかしながら、紫外線硬化型FRPシートにおいては、短期間でシートが剥がれる事象がしばしば報告されており、シート剥がれが発生した場合、再施工が必要となっている。短期間で再施工が必要となった場合、ライフサイクルコストの面からも不利となるため、この原因究明及び対策が急務となっていた。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>UVPPS工法は、多機能接着剤を用いて、紫外線硬化型FRPシートを貼り付ける構成としたことを特徴とする補修工法です。</p> <p>従来のシートを直接貼付ける工法に対して、多機能接着剤を使用する工法にすることで、高耐候性のFRPシートによる補修効果を維持した上で、シートの密着性や付着力の安定性を改善し、耐久性を大幅に向上するだけでなく、施工性も大幅に改善することが可能となりました。</p>		
	3. 技術の効果		
<p>UVPPS工法は、従来の紫外線硬化型FRPシートに対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シートの密着性や付着力の安定性を改善することで、耐久性を大幅に向上 ・多機能接着剤の性能により、長期間付着力を維持可能 ・施工性に優れ、工期短縮が可能 ・鋼構造物及びコンクリート構造物の同時施工が可能となっております。 			
4. 技術の適用範囲			
<ul style="list-style-type: none"> ・鋼構造物及びコンクリート構造物の補修工法として適用可能 ・定着長(50mm)を確保することが可能であれば、様々な形状に追従してシート貼付けが可能 			
5. 活用実績			
<p>国の機関: 28件(九州: 2件、九州以外: 26件)</p> <p>自治体: 146件(九州: 3件、九州以外: 143件)</p> <p>民間・その他: 13件(九州: 0件、九州以外: 13件)</p>			

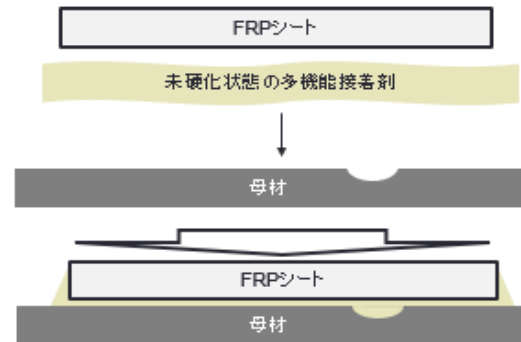
UVPPS工法

UltraViolet Curing PrePreg Sheet



剥がれにくい & 施工性の良い FRPシート補修工法

施工手順	
(ケレン) ※2種ケレン以上	
ベースプライマー塗布工	
養生	
シート貼付け工 (多機能接着剤使用)	シート貼付け
	脱泡
	端部処理
紫外線照射工 (太陽光含む)	
(塗 装)	



多機能接着剤の使用により、
①シート貼付け
②脱泡
③端部処理
を同工程で施工